



祝・成人 「復興に向けて若い力を！」

平成24年北上市成人式は8日、さくらホールで行われました。新市が発足した平成3年度に生まれた862人が式典に出席し、新たな門出を祝いました。

オープニングでは専修大学北上高校吹奏楽部によるステージドリルが披露され、会場からは大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

式典は新成人の高橋大樹さんと佐藤紗希子さんの司会で進められました。代表あいさつでは、谷保諒太さんが「大人としての自覚を持ち社会に貢献できるように、今こそ力を一つにし、真剣に考えていきますよ」と呼び掛けました。

「20歳(はたちのメッセージ)では、家族や仲間への感謝の気持ち、将来に向けた抱負や決意などをメールで募集し、昨年10月にプロボクシング世界王者となられた八重樫東選手からも力強いメッセージが届きました。

新成人の感謝と決意が詰まった一通を紹介します。

『「成人になる」というのは、単に年を重ねるだけではなく、自らの行動に責任を持つこと、一人の大人としてさらに一歩社会へ踏み出すことだと思えます。

今までは周りに甘え、助けられるばかりでしたが、これからは手を差し伸べて支えていけるような成人になりたいです』(抜粋)

代表あいさつ



谷保 諒太 さん
(飯豊地区)

- ① やっとこの日が来た
- ② 若い力をいろんな面で発揮したい。何ごとにもチャレンジ精神で!
- ③ 若い力が求められている。一緒に頑張っていこう

司会者



高橋 大樹 さん
(岩崎地区)

- ① 実感があまりない。早かった
- ② 就職が決まったので、いい成果を出していきたい
- ③ 実際に沿岸に行く大変さが分かる。自分ができることを!

司会者



佐藤 紗希子 さん
(岩崎地区)

- ① ここまで早かった
- ② 医療関係の学生だが、資格を取って地元に戻りたい
- ③ 思いやりを持って他人と接することの大事さを実感



後藤 彩花 さん
(口内地区)

- ① 実感が湧かないが、着物を着られてうれしい
- ② 周りの人に思いやりを持てる人になりたい
- ③ 人と人とのつながりの大切さを感じた

恒例 新成人にインタビュー

- ① 成人式を迎えた感想
- ② 将来の夢や希望
- ③ 震災を経験して...



塩脇 順平 さん
(黒沢尻東地区)

- ① やっと大人になった
- ② 就職(電力関係の仕事)
- ③ 岩手県人は皆で協力していかなければならない。共に被災者を支えていこう



高橋 舞帆 さん
(鬼柳地区)

- ① あっという間だった
- ② 小学校の栄養教諭
- ③ 健康で生きていること、家族と一緒にいることが大事と感じた



伊藤 敬二 さん
(藤根地区)

- ① 大人として頑張っていきたい
- ② 農業関係の仕事に就きたい
- ③ 風評被害に負けずに安全・安心な農作物を作っていきたい



佐藤 優 さん
(藤根地区)

- ① あまり実感が無い
- ② 社会福祉士。病院に勤務したい
- ③ 自分は福島の大学生。原発の関係で避難生活を送った。当たり前の生活がどれだけ幸せかを痛感



活動体験交流会の参加者募集

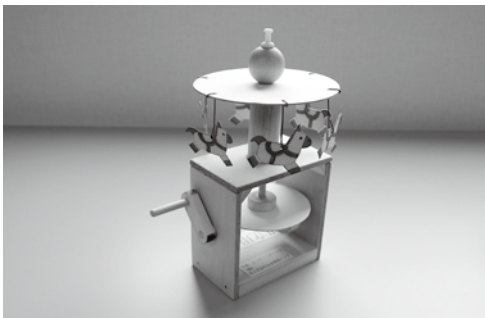
「発明クラブ」って何をやるの?」

北上市少年少女発明クラブでは、身近な素材を使って理科などを応用した実験や自分のアイデアを形にする工作など、子どもたちの豊かな発想を伸ばすための活動を行っています。「ものづくり体験から創造は生まれる」がモットー。楽しくするために盛りだくさんです。

交流会ではクラブの内容を説明し、会員と一緒に楽しみながら工作も行います。学校や家では経験できないことを、ぜひこの機会に体験してみませんか。

活動状況は同クラブのホームページでも紹介していますので、どうぞご覧ください。

- とき：2月25日(土)午後2時～4時
- ところ：生涯学習センター第2学習室
- 内容：①地震の発生と伝わり方の学習 ②地震警報器の製作
- 対象・定員：小学生とその家族・先着15組(製作は家族で1個。作品は持ち帰り可)
- 参加料：無料
- 申し込み：2月1日(水)～15日(水)の間に①氏名②保護者名③住所④電話番号⑤学校・学年を記入し、ファクス(63-3121)または電話(☎61-3232)で社会教育係へ



(上)電動工具を使ってアイデア工作の製作中
(下)カム(運動の方向と距離を変える仕組み)を利用して会員が製作したメリーゴーランド

北上市少年少女発明クラブホームページ
URL <http://www.kitakami.ne.jp/~hatumei/>

仲間との絆が大切！「ガールスカウト岩手第20団」

市教育委員会では、青少年の健全育成を目的としている市内の社会教育団体の活動を支援しています。今回は、多彩な活動を展開している同団を紹介します。

生活する上で、自ら考え、行動できる人となることを目指し、就学前1年から成人までの団員が月に2回(主に第2・4土曜日)活動しています。

本年度は、特に東日本大震災に関する支援活動に力を入れてきました。「ひとりではできないことも、皆で一緒に力を合わせれば達成できる」を合言葉に、4月には花巻、水沢地区の団と合同で震災復興「バザー」を開催。さらに10月には十字路商店街が実施した「北上鬼のへそ祭り」に参加、フリーマーケットや募金活動を



活動日に制服姿で。頑張っていることは「友達と協力して何事も成しとげる！」



男山でのキャンプ。おいしいフルーツポンチの出来上がり！

行い、収益金を沿岸地域のガールスカウトへ送りました。

そのほかにも、他の団と合同のキャンプやブローチ・マスコットなどの製作活動、ウォークラリーなど、楽しいことがいっぱいあります。お花見やクリスマス会など季節ごとの行事もあり、みんな仲良く、和気あいあいと活動しています。

「地域を越えた異年齢の仲間との交流の中で学べるものは大きい」と堀江同団委員長。団員は随時募集していますので、お気軽に事務局高橋喜代子さん(☎77-3681)へ。※子ども会など青少年健全育成の取り組みで、広報紙で紹介したい事例がありましたら、社会教育係(☎61-3231)へ連絡してください。

生涯学習センター休館日

2月15日(水)

毎月第3水曜日は休館日です。